



森ボラ 通信

第179号 2017年4月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆第15期定期総会開催のお知らせ◆

第15期定期総会を下記の通り開催します。

日時：2017年5月10日（水）15：30～16：30

会場：札幌市エルプラザ2F・環境研修室1、2

（札幌市北区北8条西3丁目/TEL・728-1222）

※なお、開催に当たり議決委任状を発送しております。ご都合

で出席できない会員には事前に事務局あて委任状の送信をお願いいたします。

議案

第一号議案 2016年度事業報告、決算報告、監査報告承認の件

第二号議案 2017年事業計画（案）、予算計画（案）承認の件

第三号議案 「森ボラ協議会」に係る件

2016年度事業報告、決算報告・2017年度事業計画（案）、規約の改正

その他



活動報告

◆活動現場リーダー制度の担当者変更のお知らせ

参加者全員が現場で作業を進めるにあたり責任分担のフラット化を図り業務の流れや継続性の向上と安全確保を目的として2年前に導入した制度です。

森林内の活動は単独作業のように見えてもチームとなっている活動が主です。その日にボランティア活動に参加してくれた会員が安全かつ達成感をもって終われるようにする事を目的としています。5月から新しいメンバーでスタートしますのでご協力よろしくお願ひします。

業務委員会で作業日毎に決められたプロジェクトチーム（4名編成）が以下の事項を確認し指示して行きます。（チームは作業参加表のプロジェクト欄に記入）

1. 機材・キャリコ、燃料等の確認と準備
キャリコ運転担当（矢澤、樫棒、田山、大窪、市山）
2. 朝礼・・・作業内容の指示と注意事項及び役割分担、体操の指示、出席者の確認、日報作成者の選定、安全（危険予知）・火災の確認
3. 終礼・・・作業の進捗状況の確認、火の後始末、施錠確認等
（サブリーダーはリーダーを助けリーダー欠席の時は替わる）



プロジェクト	リーダー	サブリーダー		
日程統括(業務委員会)	荻田	酒井、矢澤、樫棒、大窪、市山		
A	矢澤	西野(憐)	佐野	荒舩
B	釣井	酒井	荻田	藤原
C・(親子、澄南小)	大窪	和田	清澤	三橋
D・(有明)	樫棒	高野	和田	田山
E・(CGC、多面)	市山	加藤	樫棒	釣井

- ※ 作業内容を勘案して業務委員会でプロジェクト担当を決める。
- ※ 「渉外」的な仕事が出てきた時は事務局と相談・例：通行証・入林許可証、消防届・行事の打ち合わせ会。
- ※ 日報の取り纏めは市山さんが担当（1年交代で幹事輪番制とする）。
- ※ 台風等で危険な状態が予測される時にはリーダーと事務局が相談の上、事務局から前日18:00までにメール、電話で参加申し込み者に伝える。
- ※ 小雨、雪等の天候では原則活動実施(参加の判断は個人に委ねる)。(文・事務局)

◆澄川南小学校2年生自然体験学習（紅桜公園）

2年生47人が2月27日に紅桜公園の森で自然体験学習が10:00から行われる為、当協会員が2台の車に7名が便乗し参加しました。

着いた時にはすでにスノーシューを履く準備をされていて少しお手伝いをし、酒井さんの挨拶を終えた後6班に分かれて林内を散策、冬芽、動物足跡の観察、昨夜から雪が降った為かキツネの足跡しかみられなかった。

又、木に巻き付いたコクワの蔓が今後どのような影響を与えるかなど学習した後、雪によって曲げられ埋もれた小径木の木を見つけ班全員で掘り出して助けようとしたが雪深くに入り込んでいて諦めざるをえなかったのが悔しそうに見えました。(写真)

まだ時間が残っていたので例年通り尻滑りを楽しんで今年はカンジキ体験を行わなかったので時間に余裕を持って自然体験学習を終える事が出来ました。(文・大窪)



◆森ボラに参加して

昨年、11月より「森ボラ」に参加している、矢野です。

十勝にある山林の手入れを自分でやりたいと思って、インターネットで森林ボランティアを探して入会しました。知り合いもなく、ホームページに書いてあること位しかわかりませんでしたので、まず入会してやってみて合わなかったらすぐ辞めてもいいかとも思って参加しました。

11月上旬に市山さんと待ち合わせをして初めて澄川の都市環境林へ行きました。約5か月経ちましたがその間、桜の木の囲い、毎木調査、蔓きり、標準木調査、伐採、集材等いろいろなことを行いました。

山を歩いていると、「ニセアカ」「ミズナラ」等と言われるのですがさっぱりわかりません。毎回、かなりの肉体労働でいつも汗だくになって、ハアハア言いながら皆さんの後をついていきました。

無理なくていいよ、と言われて自分のペースでできるので良かったです。以前に比べると、大分体も慣れてきたようで少しずつ負担も減ってきたように思います。森ボラの水が合っているようで参加すること、皆さんに会えることが待ち遠しくなってきました。春になって、これからもさまざまな活動を楽しみにしています。今後ともよろしくお願いたします。(文・矢野)



◆ 2016年度 第6回（最終回）親子森林教室の活動報告

森の“春の目覚め”を感じ、森しり隊一期生が修了式を迎える！

3月26日（日曜日）、1年を締めくくる第6回親子森林教室・森しり隊が、隊員7名、保護者・協会員含めて総勢29名の参加で開催されました。活動テーマは「木を育て、春の目覚めを感じる」で、天気は最後を祝するかのような快晴でした。

まずはスノーシューを履いてB2地区の森に移動し、そこで樹液採取の方法を学び、採れた樹液を味わうことです。説明者の西野(榎)さんが直径20cmほどのイタヤカエデの幹に2箇所穴を開けると樹液が勢いよく滴り落ちます。素早くビニール管を差し込んで下に置いたポットに集めます。そして採れたての樹液を味わい、また、事前に採って1/40ほどに煮詰めた樹液(メープルシロップ)も味わって違いを比べてみました。残念ながら時期が合わずにシラカンバの樹液は採れず比較することは出来ませんでした。子どもたちは森からの美味しいプレゼントに驚きながら、何回もお代わりして春の目覚めを味わっていました。

特別回の活動スケジュール	
9:37~	朝礼・ラジオ体操
9:50~10:05	(B2地区へ移動)
10:05~10:25	樹液を採取し味わう
10:25~11:00	間伐を体験する
11:00~11:20	(小屋前へ移動)
11:20~11:45	年輪の話聴く
11:45~12:30	昼食・休憩
12:30~13:00	(保養センター駒岡へ移動)
13:00~14:20	修了式
14:20	解散



樹液を味わう

次は間伐体験です。前回の2月では協会員がチェーンソーで大木を伐り倒すのを見学しましたが、今度は子どもたち自らが手に手鋸を持って小径木を伐り倒します。説明者の酒井さんから、倒す方向に受け口を作って、反対側(追い口)から伐り進めていくと実演しながらの説明を受けます。そして、2月に各自が決めておいた直径10cmほどのシナノキ、イタヤカエデ、アズキナシの萌芽木を手鋸で伐り進めました(受け口を作る鉋作業は



間伐体験

協会員が手伝いました)。手鋸の扱いに慣れていない子どもたちは悪戦苦闘しながらも見事伐り倒すことが出来ました。更に、倒した木の長さを巻尺で測り、2月に目測した値と比べてみることや年輪も数えてみました。

第二小屋前広場に戻り、酒井さんから、なぜ間伐するのか、年輪とは何かの説明を受け、年輪が42年の木板を使って見えてくるその木の生長過程の話をお聞きしました。昼食後、各自の



間伐体験

車で、修了式の会場である「保養センター駒岡」に向かいました。

修了式では、先ず1年間の森しり隊の活動を記録したスライドを懐かしく観賞し、主催者を代表して酒井代表幹事が挨拶をしました。酒井さんは、子どもたちが澄川の森を歩くことで“生きる力”が育まれたこと、森を育てる様々な活動を通して“小さなボランティア”を実行したことを話し、保護者の協力に感謝の意を表しました。

次は子供たち一人ずつから、1年を通して森しり隊に参加して得た感想を発表してもらいました。子どもたちからは、木を育てる様々な活動を楽しみ体験したことや森の大切さが理解できたこと、ホタル観賞など森の恵みに感激したことなどが発表されました。(詳細については別途作成する「2016年度森しり隊活動報告書」に掲載する予定です。)また、出席した保護者からも主催した協会への感謝のこもった感想を貰い、協会員が担当した説明者を代表して樫棒さん、釣井さんからは参加者に満足してもらい良かったとの感想発表もありました。

締めくくりは隊長である大窪さんから1年を振り返っての総括があり、学校で学べない森の活動を積極的にやっていただいたこと、ケガが無くて良かったことが話されました。

最後は修了証(楯)の贈呈です。楯は森しり隊の事務局が間伐で倒した直径25cmほどのシナノキの大木を厚さ2cmほどに輪切りにして、隊員の名前と活動



の一コマを写した写真を貼付した手作りの心温まる物です。子どもたちは酒井代表幹事から手渡されると喜んで胸に抱えて記念写真に納まっていました。

こうして2016年度の親子森林教室・森しり隊は1年間の活動を終わりました。既に2年目の2017年度が始まっていますが、この1年間の取組みの成果と反省を踏まえて、更に充実した親子森林教室にしていこうではありませんか。（文・清澤）



修了証(楯)を手に全員で記念写真

■今月の幹事会

出席者：大窪・荻田・樫棒・加藤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2017年5月、6月スケジュール・・・5月2日（金）定例幹事会
2. 親子森林教室 2017年度スケジュール・・・14組（継続、新規各7組）森しり隊員19名
3. 2017年度森林・山林多面的發揮機能対策進行状況・・・2017年度交付金決定
4. 札幌市環境部共生課訪問の反応（3/9）・・・佐野、酒井、市山継続対応
5. 札幌大学 学校林支援に付いて・・・3/27 大学武田理事と継続対応、林内樹木状況（巨木調査）説明、助成申請先の模索
6. 澄川プロジェクトの運営・・・5月の作業参加申込書から新プロジェクトチームで担当
7. 大雪山ボランティア支援の骨子（3/17の説明会を受けて）・・・支援見合わせ
8. 委員会報
 - 広報委員会・・・2017年度“土・日ボランティアしませんか”トップページ掲載
 - 業務委員会・・・2017年度年間作業計画確定版。 研修旅行の参加状況・・・18名参加希望。
9. その他
 - ・第15回総会議事録準備・・・4/21の臨時幹事会で擦り合わせ
 - ・2017年3月会計報告の決算総括

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
3月15日（水）	エルプラザ	23	会員例会：和田功さん「2017年親子森林教室」・講演会：鈴木玲氏/手稲さと川探検隊/代表「親子自然体験活動～手稲さと川探検隊」
3月17日（金）	澄川	12	ミズナラホダ木集材・E-3 蔓切り・コクワ成形
3月22日（水）	澄川	16	E-3 整理伐・E-5 標準木調査
3月24日（金）	澄川	13	30cmの積雪管理地の雪掻き・イタヤ樹液採取
3月26日（日）	澄川	16	親子森林教室小径木の間伐・駒岡センター修了式
3月28日（火）	澄川	16	E-6 毎木調査終了・E-3 整理間伐
3月30日（水）	澄川	14	E-7,8 境界線杭打ち・E-3 集材作業
4月2日（日）	エルプラザ	13	親子森林教室開校式（14家族19名森しり隊員）
4月4日（火）	澄川	14	E-3 伐採、集材・E-7 標準木調査
4月6日（木）	澄川	13	E-3 チルホール掛かり木処理・E-8 標準木調査
4月7日（金）	ラルズビル	11	定例幹事会
4月11日（火）	澄川	16	E-5 蔓切り・E-3 整理間伐
4月13日（木）	澄川	13	E-3 整理間伐・親子森林教室用ホダ木整理